

福岡地区

株式会社剣星工業

コンクリート打放しの新設、補修工事を手がける(株)剣星工業。独自開発の「リーアピア工法（登録第 5659913 号）」を武器に、平成 23 年の創業からこれまで、公共施設から医療施設、マンション、戸建て住宅など数多くの物件で実績を重ねている。

リーアピア工法とは、同社の持つコンクリート打放しの補修技術の総称であり、基本的にはコンクリートの打設不良の事例の一つであるジャンカ（締め固め不足やセメントと砂利の分離、また型枠下端からのセメントペーストの漏れにより空隙ができ強度が下がり、脆くなっている状態）を埋め戻して再生する工法だ。

「こういった補修をする業者が少ないことと、リーアピア工法という独自技術を持っていることが強みになっています」と話す井上正剛社長は、創業以来、特殊工法やそれを施工するための道具等を開発し、今ではリーアピア工法に5つバリエーション（リーアピア IH 工法、— ZH 工法、— LH 工法、— MH 工法、— DH 工法）を生み出しているアイデアマンだ。

なかでも最近、特に需要が伸びているのが、本実打放しコンクリートにジャンカ・ピンホール・木アク等を補修し、柵目調にする「リーアピア MH 工法」だ。凹凸もあり本物の柵目と間違ふような仕上がりで、駐車場や外構工事などを含めた建築物に採用されており、施主や取引先からも高い評価を得ている。「個人住宅の門扉に使うと高級感を出したり、打放しと交互にアクセントとして使われたりすることもあります。また、凹凸を付けずに杉板の柵目を前面に描くことも可能です。近頃では、設計段階で打放しを柵目調へという変更も多く、柵目調がブームのようです」。

独自開発の工法ということもあり、創業当時は知名度もなく、営業には苦勞したが、実績を重ねるにつれ紹介も増え、今では営業に苦勞することがなくなってきたという。ニッチな業態で需要の高まりもあり、今後の事業拡大が期待されるが、「技術の精度を保持するため、また技術の流出を防ぐためにも職人の数を積極的に増やすことはせず、私の目の届く範囲内だと考えています。今後の目標は、無理せず着実に全国で実績をつくっていくことです」と井上社長。その言葉からは、独自技術への自信と誇りが感じられた。また、現在も新しい工法を検討中とのことで、その探究心から生まれる新しい技術にも期待したい。



井上 正剛社長



工事実績：福岡大学商学部



工事実績：東九州道上毛東工事

代表者名 井上 正剛
所在地 福岡市早良区田村 6-21-22
電話 (092) 985-1311
F A X (092) 980-1312

<http://kensyou-kogyou.com>